諸藥食物差合なし　麻袋入

鹽竈宮
御靈方　蠻紅華湯　一貼代百文

五六度ふり出し後せんじ用ゆ

抑蠻紅華湯之儀ハ往古醫道博士和氣廣世奥州の鎮守塩竈の宮ニ参籠して擁護を蒙り請得し神授ニして予が先祖より一子相傳の大奇方也製法の節ハ不浄を拂清浄の別間ニおゐて薬種至極の上品を撰ミ調合秘傳の靈薬ニて更ニ世の類薬ニ比すべき儀ニあらず

此製薬ニ用る蠻紅華とハ薬ハ胎中を補ふ最上の良薬ニて心腎の二臓ニ入精氣を増し動氣をなだめ五臓六腑を潤し血の道を補ひ魂氣を強し肝を鎮め婦人懐妊ニ用ゆれバ胎中の子を養育大妙薬なり且人参銭加へ元氣を補ひ沈香の香氣をもつて鬱氣を発き逆上を引下心下の痞を除き其余三十七味の主剤修治の秘製をもつて調煉なさる奇方なれバ世間の有薬とハ格別ニて気道血脈巡り不順人用ひて其病症を治る事朝日ニ霜の消ゆるが如く玄妙無双の神薬なり

夫人生皆病ある事稀なり成長ニ随ひて喜怒哀楽を悲歎驚怖の思ひを積且酒食ニ節を過し酔ひて猥ニ房ニ入欲を恣ニ其精を尽して其真気を耗散し不時ニ神を御し生楽ニ逆ふが故ニ気道血脈自然ニ滞りわけて懐妊の婦人ハ難産となり恐るべき事なり上包の初ニ記し病ハ何にても気血の滞りより種々の病ニ変化して心身を苦痛む早く此奥薬を用ひて速ニ病根を除き天年の寿を保つべき事なり

上包ニ著す所の三十七ヶ條の難産の症此薬を用て効験ある事ハ神の如し且産婦胞衣下らぬ時ハ此薬二三貼呑尽し烏の羽を咽ニ差入嘔気二三度ニ及べバおりざる事なし又上血暈の時ハ口を閉咽ニ下らぬ時ハ鼻の穴より吹入即座ニ命を返す事神の如し脱血暈の時ハ温酒をもつて用ゆべし神気労し男女心気をも乱心の者ニ用ひて気を治す事大妙也婦人気道血脈の巡りあしく血塊ある事諸々の病ハ生じ懐胎なき事多し此薬二三剤用ゆる時ハ気血自然と循環し五臓六腑を補ふゆへ懐胎する事誠ニ妙也

落馬打撲金瘡骨継ニ用る節ハ煎洗ひ又呑てよし産後年を重ねて膝立かぬる婦人又ハ大病後の男子用て妙也世上の血の薬ニて験ある男女とも用て大妙薬なり

産前五ヶ月目より交合を禁じ此奥薬を服用なさるれバ萬人ニ一人も難産の愁なく安産なさる事請合也既ニ衆醫も手を束ねたる難産ありて此良薬を用ひて安産なりしこと多年数百人の難産を試しニ百発百中損ずる事なく産せしめ身体も健ならしむる奇妙不思議の奥薬なり

右ニ述るごとく気血両道より発る病ひあらバ此蠻紅華湯を産前産後ニ限らず男女とも常ニ用ひて何病なりとも即功を顕ハす神妙希代の奇方なり猶神霊の効徳用ひて知り賜ふべし

御免
日本一家
製薬所
本店　奥州仙臺塩竈町　一貫堂
出店　同所　玉造屋壽助

江戸取次所
馬喰町三丁目　山口屋藤兵衛

諸国出店取次所別紙ニ記出

塩籠宮御霊方　蠻紅華湯　文庫10-8001-1
早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library